

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月30日

2次評価日（課長等） 30年3月30日

1 事業名	国民保護対策事業	コード	91104
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 危機管理室	作成者 小林 隆志
--------	--------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政策	安全・安心な暮らしの確保	施策	危機・防災・減災対策の推進
		予算科目	国民保護対策事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的的事业）	国県補助	なし
		根拠法令	国民保護法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	国民保護法及び国民保護計画に基づく対策を推進する。		
目的	対象者	全市民	
	意図	住民の生命、身体及び財産を保護する。	

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
①国民保護協議会の開催：5月26日 ②岡谷市国民保護計画の修正：国民保護協議会において承認			
前年度の課題への対応	国、県の動向を注視しながら、諏訪広域連合や岡谷市独自の状況を勘案し、国民保護計画の修正を行った。		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	国民保護協議会の開催回数			単位	回
実績値	1	1	1		
*指標の説明	協議会の会議開催数				
② 成果指標（指標名）	国民保護協議会の開催回数			単位	回
目標値	1	1	1	1	
実績値	1	1	1		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
*指標の説明	協議会の会議開催数				
*目標値の設定方法の説明	協議会の会議開催数				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	10,417	10,493	10,295	46,000
経常経費	10,417	10,493	10,295	46,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
正規職員の人数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15
③ 合計コスト(①+②)	1,210,417	1,210,493	1,210,295	1,246,000
前年度比		100.0%	100.0%	103.0%
財源	1,210,417	1,210,493	1,210,295	1,246,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	1,210,417	1,210,493	1,210,295	
前年度比		100.0%	100.0%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	100.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	
成果指標の目標値 達成度	100.0%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・弾道ミサイルやテロへの対応についての住民理解と訓練の実施。 ・岡谷市国民保護計画の適時適切な修正対応。 	
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県の動向を注視し、とりわけ情報収集に努める。 ・訓練については、県との連携を持って行う必要があるため、適時情報交換を行う。 	
	改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---